

令和4年7月9日13時半～
ペガサート6F（リアル）+オンライン

令和4年度 しずおか民家活用推進協会
第1回 総会

議事次第

1 開会

2 挨拶（理事長、来賓）

3 本日の進め方

<第1部：総会>

4 議事（票決はリアル+委任状+票決書）

- 1) 第1号議案 社団法人「しずおか民家活用推進協会」細則等
- 2) 第2号議案 令和3年度「しずおか民家活用推進協議会」事業報告・決算
- 3) 第3号議案 令和4年度「しずおか民家活用推進協会」事業計画・予算
- 4) 第4号議案 その他

<第2部：設立記念シンポジウム>

“世代を超えて共に紡ぐ民家活用”

5 県内事例報告 山下ともち様※1・シェリークラーク様※2

※1 静岡市清水区折戸・旧醤油醸造民家再生 NPO 法人ヒトマチプロジェクト代表

※2 島田市笹間岡村邸・旧名主屋敷再生 海洋資源管理専門家

6 基調講演 松場登美様

（株）石見銀山生活文化研究所所長、服飾ブランド「群言堂」代表、内閣府・国土交通省観光カリスマ、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2008 総合3位」

7 パネルディスカッション

- ・コーディネーター：木下勇（当会副理事長）
- ・パネラー：松場登美様、山下ともち様、シェリー・クラーク様

8 閉会

I 第1号議案

1 社団法人しずおか民家活用推進協会設立経緯（報告）

- ・令和3年7月 しずおか民家活用推進協議会総会にて法人化を決議
- ・令和3年9月～12月 定款等の案を検討
- ・令和4年1月～法務局等の手続きを開始
- ・令和4年5月 登記完了
- ・令和4年5、6月 細則案検討

2 社団法人しずおか民家活用推進協会 定款（報告、別添参照）

3 “しずみん”細則（案）

「一般社団法人しずおか民家活用推進協会 定款細則」（案）

（活動・事業推進の考え方）

第1条 本協会の活動・事業は以下の考え方をふまえて進めるものとする。

- ・地域のための活動、事業を行う。
- ・ボランティアを基本とする。
- ・地域の生活、文化、歴史を大切にする。

（会員）

第2条 本協会に入会するには、所定の入会申込書を本協会に郵送またはメールで提出しなければならない。

（会員種別の変更）

第3条 会員種別の変更を希望する会員は、所定の転格申込書を本協会に郵送またはメールで提出しなければならない。ただし、学生等である準会員は、当該学校卒業と同時に一般会員に転格するものとする。

（会費）

第4条 会費は次のとおりとする。

- (1) 正会員 年額 3,000円
- (2) 一般会員 年額 2,000円
- (3) 準会員 会費は無しとする。
- (4) 賛助会員 年額10,000円（1口）以上

2 事業年度の途中で入会又は転格した者の会費は月割計算とする。

3 会員に特別の事情が生じたときは理事会の議決によってその期間中の会費の減免又はその他の措置をすることができる。

（顧問）

第5条 本協会に、顧問を置くことができ、顧問は、民家活用に関する学識経験者であって、理事会の推薦により総会の議決で指名した者とする。顧問は、会務の重要事項について、理事長の諮問に応じ又は意見を提出する。

2 顧問は、無報酬とする。

3 顧問には費用を弁償することができる。

4 顧問は、役員に就任したときはその位置を退くものとする。

（会務）

第6条 理事は互選によって次のとおり会務を分掌する。

- (1) 総務 総会、理事会、事務局、庶務等

- (2) 会計 収支予算、決算、財産の管理運営等
- (3) 情報 ホームページ、しずみん通信等
- (4) 事業 見学会、説明会、講演会、展覧会、懇親会、地域事業等
- (5) 調査研究他 助成事業、受託事業等

(雑則)

第7条 この細則の改廃は、理事会の議決を経て理事長が定める。

2 この細則に定めるものの他、必要な規定の制定及び改廃は、理事会の議決を経て理事長が定める。

(附則)

この規程は、一般社団法人しずおか民家活用推進協会の設立の登記の日から施行する。

4 役員人事案

(理事15名・監事2名以内)

区分・分掌		氏名	担当	備考
(1)理事長		伊藤 光造	総括	㈱くらしまち継承機構理事長
(2)副理事長		木下 勇	事業方針	大妻女子大学教授
		塩見 寛	組織、研究開発	静岡県建築士会 HM 委員長
(3)理事	総務・会計	松永 和廣	事務局長、事業企画、SOYハウス	㈫松永和廣設計事務所代表
		本田 弘哉	各種 PRJ 運営	㈱しんあい CEO、㈱こころしさ理事長
		松永 達哉	〃、事務局補佐	㈫松永和廣建築設計事務所
	事業担当	稲葉 穰	柏尾の家	木下邸を楽しむ会代表 元蒲原まちづくり協議会会長
		小長谷 敦史	SOYハウス。松崎他	スタジオフォルム代表
		松浦 英泰	柏尾の家	TAP 株式会社代表
		森 勲	東部担当	㈱イズケン代表
		高木 敦子	中部担当	㈱地域づくりサポートネット 副代表理事
		山内 秀彦	西部担当	㈱地域づくりサポートネット 代表理事
	情報担当	杉山 智之	通信他	杉山智之建築事務所代表
		寺井 由美子	HP 他	瀬名郷倉保存会
	調査研究他	土屋 和男	-	常葉大学教授、県文化財審議会委員
	(4)監事		野知 泰裕	-
(5)顧問		天野 光一	-	日本大学特任教授
		児玉 善郎	-	日本福祉大学学長
		後藤 治	-	工学院大学理事長
		林 泰義	-	玉川まちづくりハウス代表

<第2号議案> 令和3年度事業報告・決算

1 事業報告

1) 民家の保存活用にかかる情報共有、発信

(1) ホームページの作成

- ・トップページのお知らせは、“しずみん”主催の活動案内など約 20 件をアップし会員等への情報発信を図った。

(2) “しずみん通信”（メルマガ）の発行

- ・民家レスキュー速報、会員実績紹介など、本年度は 14、15 号を発行した。

2) 民家にかかる活用方策の調査・研究

- ・松崎町関連で文化庁、観光庁に応募し採択された。
- ・国の DX 事業制度の情報収集を行った。

3) 民家活用の活動・事業の実施

(1) 「松崎町 SAKAN アートワールドカップ」等

- ・地元松崎町とのコラボのもと、文化庁の助成（約 690 万円）を受け 2 つの講座とフェスタ長八を行った。また観光庁の助成（1500 万円）を受け表記イベントを実施した。コロナ禍で苦労があったが無観客対応等で無事実施した。

(2) 民家活用サポート

- ・折戸 SOY ハウス；SOY マルシェ、NPO 設立、発酵カフェ実施をサポート。
- ・柏尾まるなかの家：子ども WS 開催、竹の遊具づくり等実施、コミ推協補助申請支援。
- ・吉津大橋邸：活動支援。改修がほぼ完了。

(3) 新規活用プロジェクトの立ち上げ

- ・松崎 I 邸、由比 F 邸について、コロナ禍があり、活動が進展しなかった。
- ・由比については新たに 2 件の相談があった。
- ・長泉町納米里 N 邸の相談にのったが取り壊し・移転。
- ・小山町明倫地区古民家活用について相談があった。今継続中。

(4) 民家活用相談事業

- ・児童預かり所、カフェ、卓球練習場等の相談があった。
- ・湖西市新居地区の空き家活用の相談があった。現地を視察し人を紹介した。
- ・富士宮市朝霧地区古民家にかかる活用の相談を受けた。

(5) その他の事業推進

- ・清水辻地区ゲストハウス、全国渡り鳥生活倶楽部(株)その他のプロジェクトへの協力。



“しずみん”ホームページ



SAWC ちらし



折戸 SOY ハウス



柏尾まるなかの家

4) 行政等とのコラボ事業の推進

- ・袋井市三川地区 K 邸について、国の DX 構想を活用できないかという相談があった。
- ・下田市から依頼があり安直楼の見学を実施。

5) 会員の研修・親睦に係る事業

- ・毎月幹事会を兼ねて研究会を開催した。県外の視察はコロナ禍もあり実行をしていない。

任意団体・しずおか民家活用推進協議会の事業・活動は、新規社団法人に全面的に引き継ぎます。

2 決算

◎2021 年度会計報告（令和 3 年 6 月 1 日～令和 4 年 5 月 31 日）

※会員：137 名（法人 11、一般会員 116、顧問・学生 10）（未払い 41 名）

貸借対照表

（単位：円）

<科目>	金額	<科目>	金額
資産の部		負債の部	
ゆうちょ銀行	327,915	立替金	3,500
静岡銀行	199,707		29,480
現金	62,887	純資産の部	
預り金		当期増減額	557,529
資産合計	590,509	負債・純資産合計	590,509

収支計算書

（単位：円）

<収入>	金額	<支出>	金額
会費	251,000	総会	7,080
前年度繰越金	411,575	しずみん通信・HP 管理	50,000
吉津家賃(収入)	420,000	しずみん法人化	160,390
		吉津家賃(支出)	308,580
利子	4	その他	0
		次期繰越金	556,529
計	1,082,579	計	1,082,579

監査報告

会計帳簿、収支決算書等につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準等に則り適正に処理されているものと認めます。

令和 4 年 6 月 24 日

監査

本田 弘哉 

<第3号議案> 令和4年度事業計画・予算 案

1 事業計画

1) 空き家・民家再生活用にかかる情報共有、発信

(1) ホームページの作成

- ・ホームページの継続、充実を図る。

(2) “しずみん通信”（メルマガ）の発行

- ・民家レスキュー情報、会員実績紹介など、概ね2か月に1回発行する。

(3) “しずみん” トーク・スリーナイツ（実施時期10月～12月、第3火曜日）

- ・曾 緋蘭様（㈱Roots 代表）、はまむらたろう様（やまのパン屋）、山元功子様（とこ十和カフェ）

(4) 相談事業

2) 民家にかかる活用方策の調査・研究

(1) 助成事業等他

- ・デジタル田園都市構想、空き家対策総合支援事業等への応募
- ・その他事例収集など自主活動の実施。

3) 空き家・民家再生活用の活動・事業の実施（担当、敬称略、案）

(1) 民家活用サポート（担当）

- ①折戸柴田邸(SOYハウス)：松永和、小長谷
- ②柏尾まるなかの家：wanna × wanna、松浦、稲葉
- ③吉津大橋邸（ととのうプロジェクト）：松永達、本田
- ④由比近藤邸：松永和、伊藤、ふれあい由比
- ⑤松崎石田邸：本田、松永達

(2) 新規活用プロジェクトの立ち上げ

- ①沼津市銭湯吉田温泉活用 PRJ：塩見
- ②静岡市瀬名山崎邸宅地活用 PRJ：寺井
- ③静岡吉津もう一つの民家活用 PRJ：松永和・小長谷
- ④その他（南伊豆町二條民家、〃子浦旧小泉邸）：伊藤

(3) その他の事業推進

- ・清水区元城町自治会、地区社協との連携により空き家活用を推進。
- ・全国渡り鳥生活倶楽部(㈱)他のプロジェクトとの協力。

4) 行政等とのコラボ事業の推進

- ①袋井金井邸：袋井市、金井氏
- ②小山町明倫地区：地区まちづくり協議会、地元 NPO など：松永和、伊藤
- ③下田市安直楼再生 PRJ：伊藤、観光協会、くらしまち継承機構
- ④下田障子張り大作戦
- ⑤由比福島邸：静岡市、ふれあい由比、伊藤

5) 会員の研修・親睦に係る事業

香川県丸亀市（多世代交流施設）、大阪府杉本町（みんな食堂）等視察、会員親睦研修のため研究会等の開催、県内民家活用の団体・グループ交流。

6) その他

提供サイド、需要サイド双方の相談にのり、空き家・民家再生活用を進める。

2 予算案

◎2022年度予算（令和4年6月1日～令和5年5月31日）

収支計算書

（単位：円）

<収入>	金額	<支出>	金額
会費	250,000	総会	100,000
サブリース	120,000	しずみん通信	20,000
前年度繰越	556,529	HP作成経費	30,000
—		活用事業 ・折戸S邸 60,000— ・柏尾M邸 60,000— ・その他 260,000—	380,000
利子	2	その他	396,531
計	926,531	計	926,531